

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和6年8月2日

評価対象事業		評価者	保育課長 福士 学	
こども-14	公立保育所管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	保育課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	こども支援課
総合計画上の位置付け	分野	4-(2) 子育て	施策の方針	4-(2)-①子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童
意図	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。
効果	公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

2 令和5年(2023年)度実施した事業の概要

- 公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- 公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- 岡本保育園新園舎を賃借した。
- 腰越保育園の運営移管に向けた保育の引継ぎを行った。
- その他公立保育所の維持管理・運営に係る経費を執行した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	指標(目標値)	達成度	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	公立保育所管理運営事務	公立保育園の管理運営	-	- / -	-	-	
				171,536 / 213,296	167,310		
02	公立保育所給食事務	公立保育園の給食業務委託	栄養士による栄養管理会議実施回数(回)	60 / 60	60	60	100%
				141,170 / 149,177	123,066		
		財源内訳	国県支出金	24,029 / 10,348	4,549		
			地方債	/			
			その他特定財源	108,768 / 114,693	100,188		
			一般財源	179,909 / 237,432	185,639		
		事業費の合計(千円)		312,706 / 362,473	290,376		
		人件費(千円)		864,540	914,267		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	89	85	85	85	84.7	
会計年度任用職員	164	149	152	152	155	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	公立保育所管理運営事務	経常的な業務であり、評価することが困難であるため、指標は設定しなかった。	公立保育所を適正に管理運営することは、安心して子育てができる環境の整備に寄与することから、構成する事業として妥当である。	
02	公立保育所給食事務	公立保育所で児童の保育を行う際に必要な給食事務に関し、栄養面から子どもたちの育ちに寄与することを図り、栄養士による栄養管理会議を目標どおり実施した。	公立保育所において給食提供を適切に行うことは、安心して子育てができる環境の整備に寄与することから、構成する事業として妥当である。	安全・安心な食材の提供のため、オーガニック食材等の調達・提供について検討する。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
公立保育所の効率的な運用と維持管理を行っていく中で、提供する食材について検討を進めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	栄養士による栄養管理会議実施回数(回)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
公立保育所で児童の保育を行う際に必要な給食事務に関し、栄養士による栄養管理会議を定期的に実施することで、栄養面から子どもたちの育ちに寄与することが期待できるため。	目標値	-	60	60	60	48	48	
	実績値	60	60	60	60			
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%			

指標(単位)								単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(令和6年4月時点)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	34人	11人	9人	4人	0人	5人	0人	6人

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市に比べ待機児童数が多く、引き続き待機児童の減少に努める必要がある。
----------------------	-------------------------------------